

言語の研究

第 2 号

言語の研究

GENGO NO KENKYU
(Inquires into Japanese Language)

No. 2 July, 2016

CONTENTS

『和歌八重垣』と『春樹顕秘増抄』に見られる
有賀長伯のテニヲハ観
—「はねてには」の記述を手がかりに— …… 劉 志偉 … 1

国宝『源氏物語絵巻』の御法の「詞書」に見られる「ねば」
—已然形+バによる仮定条件表現— …… 竹部 歩美 … 15

中国語母語話者における
日本語母音/u//o/の知覚と産出 …… 周 甜 … (1)

参議院の予算委員会における「させていただく」の
使用実態とその用法の変化について
—『国会会議録検索システム』を利用して— …… 李 譚珍 … (23)

ら抜き言葉と〈れれる言葉〉と可能動詞にみられる自
発・受身・尊敬の用法について
—振れれるのもいやだし・いじめられる子供・
女性にことわれ続け— …… 浅川 哲也 … (39)

第 2 号

LIU Zhiwei : ARIGATYOUHAKU'TENIWOHAKAN in SHUNJUKENPIZOUSHO
and WAKAYAEGAKI: by clue of statement HANETENIHA …… 1

TAKEBE Ayumi : A study of the expression of subjunctive in "The picture scrolls
of the Tale of Genji" …… 15

ZHOU Tian : Perception and Pronunciation of Japanese Vowels /u//o/ by Chinese
Learners of Japanese …… (1)

YI Hyeonjin : Changes in actual use and its usage of "saseteitadaku" in the budget
committee of the House of Councilors: Using "the National Assembly proceedings
Search System" …… (23)

ASAKAWA Tetsuya : About a use of the spontaneous expression, passiveness
expression, and respect expression to be seen in a possible verb, "rererukotoba"
and "rererukotoba" …… (39)

首都大学東京言語研究会

首都大学東京
言語研究会
2016.7

Edited
By
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY GENGO KENKYUKAI
HACHIOJI, TOKYO

編集後記

本号に投稿して下さった会員の御研鑽と、本会の運営委員のご尽力により、ここに『言語の研究』第2号を発行することができた。衷心より御礼を申し上げる。

本号の編集の経緯は次のとおりである。本号には、学術論文として六件の投稿があった。編集規定で定められたページ数を超過するものが一件あったが、運営委員会で協議した結果、その論文内容に示された新しい知見の重要性に鑑みて、ページ数を縮小することを条件に投稿を受理した。

また、投稿の受理後に執筆者から投稿を取り下げの依頼が一件あり、この結果、計五件が査読の対象となった。五件のうち四件が査読委員による査読を経て「採用」となった。一件は「再投稿」となったが、執筆者による改稿の後に再投稿がされ、これを受理した後の査読の結果、「採用」となった。

会員の優れた学術論文を学界に広めるために、本誌が少しでもお役に立つことができれば、会として幸いである。会員の皆様には奮って玉稿の御投稿を賜りたい。

二〇一六年六月二三日 浅川 哲也

首都大学東京 言語研究会

会 長 浅川哲也

副会長 神田明延

運営委員 竹部歩美・山本 淳・吉田永弘

劉 志偉 (五十音順)

編集主任 劉 志偉

査読協力 手坂凡子

言語の研究 第2号

二〇一六年七月二五日印刷

二〇一六年七月三〇日発行

発行者 首都大学東京 言語研究会

代表者 浅川 哲也

〒一九二一〇三九七

東京都八王子市南大沢一―一

首都大学東京 人文科学研究科

日本語教育学事務室気付

電話番号 〇四二・六七七・二一九四

振替口座 一〇〇七〇―二七〇六三八一

(ゆうちょ銀行)

印刷所

株式会社 秀飯舎